（№　S-2021-001）

CI-NET LiteS実装規約改善要求書（CHANGE REQUEST）（案）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発信者記入欄 | | | | | | | 事務局記入欄 | | | | | |
| 発　信　日　　2022年　3月　17日 | | | | | | | 受　信　日　　　　年　　　月　　　日 | | | | | |
| 会 社 名 | | | | | | | 反映対象バ－ジョン： | | | | | |
| 企業識別コ－ド |  |  |  |  |  |  | Ver. | 2 | . | 2 | ad. | 0 |
| 部 署 名　標準委員会・LiteS規約WG | | | | | | | 事務局処理記入欄 | | | | | |
| 担当者名 | | | | | | |
| TEL:  連 絡 先  FAX: | | | | | | |
| 【指針･参考資料】工事請負契約外請求一括取り込みCSVインタフェース機能に関する追記(タグNo.付き方式（TXT）) | | | | | | | | | | | | |
| ◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）  【要求内容】  （1）改訂内容  工事請負契約外請求一括取り込みCSVインタフェース･ファイルについて、タグNo.付き方式（TXT）とする。  タグNo.付き方式の場合、タグNo.付きのレコードに定義されていないタグNo.が入力されている場合や、タグNo.のセルが空白等の場合であっても、そのデータ項目を読み飛ばすようなシステム機能を考慮する必要がある｡  なお､その他のCSVインタフェース･ファイルは､従来とおり､順番方式（INF.DAT）とする｡  （2）改訂箇所  変更前　 CI-NET LiteS実装規約Ver.2.1 ad.7 指針･参考資料p.104  (3)一括取り込みインタフェース･ファイルフォーマット  (4) 一括取り込みインタフェース･ファイルの注意事項  (5) 一括取り込みインタフェース･ファイルのデータ項目順序  変更後　 資料3-2　CI-NET LiteS実装規約Ver.2.2　ad.0　指針・参考資料　D. 参考資料　Ⅰ.　CSVインタフェース機能　部分　p.106  (3)一括取り込みインタフェース・ファイルフォーマット  (4) 一括取り込みインタフェース･ファイルの注意事項  (5) 一括取り込みインタフェース･ファイルのデータ項目  【要求の理由】  工事請負契約外取引では、協力会社がゼネコンに請求書(工事請負契約外請求メッセージ)を送信する場合､各現場の案件を一括､まとめて送信する｡そこで、レンタル・リース会社を対象に実証実験を実施した結果､タグNo.付き方式を採用する要望があったため、利用者ニーズに基づき、一括取り込みインタフェース･ファイルについて、タグNo.付き方式（TXT）とする。  また、利用者が、社内システムから出力したCSVファイルを流用することが想定されるため、未入力の場合においてもエラー処理とならないように、データ項目を読み飛ばすようなシステム機能を考慮すべきとの要望があった。  【既存ユ－ザ等への影響】  工事請負契約外取引業務を実装していないベンダ社のシステム構築に影響は及ばない。 | | | | | | | | | | | | |

（№　S-2021-001）

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る

改訂チェックリスト

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る改訂に関して、下記に示す項目についてチェック（○、×）を行い、問題がある場合にはその内容および改善の方向等について「指摘事項等」の欄に記載するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議･検討日 | 2022年3月17日 |
| 審議機関 | （委員会／WG名等を記載）  2021年度標準委員会第3回／LiteS規約WG第3回　合同会議 |

|  |  |
| --- | --- |
| 改訂内容 | （提案者、対象メッセ－ジ、新規項目名称・摘要等を記載）  【指針･参考資料】工事請負契約外一括CSVインタフェース・ファイルに関する追記 |

| チェック項目 | | ﾁｪｯｸ | 指摘事項等 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1.既存ユ－ザへの影響度合い | ①実稼動しているシステムの改修度合 | △ | タグNo.付き方式を利用する発注者は、システム改修が必要である。 |
| ②業務の見直し、変更への影響度合 | ○ | 従来業務からの変更は特に生じない。 |
| ③いずれのユ－ザの負担が大きいか | △ | タグNo.付き方式を利用する発注者は、システム改修が必要である。 |
| ④及ぼす影響の具体的な範囲や内容が見えているか否か | ○ | 及ぼす影響の範囲は明確化されている。 |
| ⑤即時の対応が可能か否か | △ | ユ－ザ社内システムなどにて対応準備が整えられた後の対応となる。 |
| ⑥立場の違いなく対応が可能か否か | ○ | 立場の違いによる対応の差異は特にない。 |
| 2.各社固有の業務要件か | ①他ユ－ザの賛同の有無 | ／ |  |
| ②業務の変更による対応可否の検討有無 | ／ |  |
| 3.印刷要件か | ①各社の帳票出力に依存する項目が否か | ○ | 請求書の帳票出力レイアウトに変更を生じない。 |
| 4.二重要件か | ①他項目での類似機能がないか | ／ |  |
| 5.定義の明確化 | ①類似項目との違いは明確か | ／ |  |
| ②規約全体を通して定義を明確にしているか | ／ |  |
| 6.改訂の緊急度 | ①即時対応の必要性の有無 | ○ | 即時対応は不要である。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 審議結果 | (単に承認／非承認だけでなく、そのような結果となった理由等も記載)  ＜2021年度標準委員会第3回・LiteS規約WG第3回合同会議(2022/03/17)＞  2021年度実証を受け､利便性向上となるため､承認する｡ |
| 今後の対応 | (上部審議機関への申し送り事項／差戻しの場合の再審議ポイントの提示など) |

|  |
| --- |
| 【チェック欄の凡例】  ○：問題なし  △：やや問題あり／指摘事項に対する配慮があるとよい  ／：対象外／該当しない  ×：問題あり／指摘事項への対応が必要 |